

概要・目標

1. 基本情報

学校名	北海道情報専門学校
住所	〒003-0806 札幌市白石区菊水 6 条 3 丁目 4 番 2 8 号
認可年月日	昭和 5 2 年 1 0 月 6 日
校長名	関 信仁

2. 特色

産学研連携による 実践教育	当校は、システム・宇宙開発、情報教育、研究開発の 3 つの領域を基礎とする「産学研」の、複合グループ「eDC グループ」の一員です。グループのパートナー企業である株式会社 SCC と宇宙技術開発株式会社 からフィードバックされてくる産業界の最新技術・最先端の知識を教育カリキュラム に反映させています。地上高速専用回線を利用した遠隔教育システムや e-learning 環境の構築も、こうした産業界からの発想です。また、これらの仕組みを用い、定常的に時代に適応した教育コンテンツが供給されるシステムの運用を可能にしたのは、北海道情報技術研究所の協力によるものです。
遠隔教育システム	当校では、ライブ形式の放映授業だけでなく、VOD（ビデオ・オン・デマンド）機能や、受講者からの質問を受けたり、アンケートを集計する双方向機能などを備えた、利便性の高い遠隔教育システムを持っています。 この遠隔教育システムを使った新しい形態の授業は、北海道技術研究所内にある「メディア教育センター（北海道江別市）」のスタジオや当校のグループ校スタジオから、専門学校向け、北海道情報大学通信教育部向けの高品質な講義映像を受講することができます。
資格と就職	電子開発学園では、開校以来、資格取得のためのデータを蓄積した高い精度の試験対策授業をカリキュラムに組み込んでおり、全国トップレベルの合格率を誇っています。 また就職難と言われる環境のなか、電子開発学園では常に世間の大学や専修学校を上回る高い就職実績を誇っています。

3. 教育理念と目標とする人材像

教育理念	IT 人材育成に関する国策の推進役を担うとともに、IT 企業が求める実践的な IT 人材を育成することにより、情報化社会の進展に寄与する。
目標とする人材像	当学校では、IT をコアとして、IT を適用する分野または業務の知識を有す「IT+α」を持つ IT 人材を育成することを目標とする。 まず、次のようなコアとなる IT 人材像がある。 ・プロジェクトに関する知識を有し、一員として情報システム開発に参加できる技術者 このコアの上に「+α」として次の人材像がある。 ・プロジェクトマネジメント知識を持ち、システム設計技術者及びプロジェクトマネージャ候補として参加できる「高度 IT」技術者 ・企業経営関連の知識を有し、情報戦略計画の策定に参加できうる「経営」情報化人材 ・医療関連の知識を有し・医療機関の情報化推進を担う「医療」情報技術者 ・Web デザイン等を含むインターネット技術に係る知識を有し、Web システムの開発に参加できうる「マルチメディア」情報技術者 ・情報化社会のビジネスを遂行するにあたり IT を有効活用し情報化を推進する「ビジネス」情報化人材、

4. 沿革

昭和 43 年 4 月	開校
昭和 44 年 10 月	千歳新校舎落成、札幌校を開校
昭和 45 年 4 月	2 年課程の学科を新設
昭和 48 年 10 月	北大植物園前に札幌校新校舎落成、千歳校を統合
昭和 53 年 4 月	専修学校専門課程認可
昭和 56 年 8 月	現在地に 1 号館・2 号館の校舎落成、道内初の T S S 教育システムを導入
昭和 59 年 4 月	3 年課程の学科を設置 C A I 教育システムを導入
昭和 59 年 11 月	3 号館落成
昭和 63 年 3 月	情報化人材育成連携機関委嘱校（旧通産省）指定
平成 2 年 4 月	4 年課程の学科を設置
平成 3 年 4 月	通信衛星によるネットワーク教育を開始 4 号館落成
平成 6 年 4 月	北海道情報大学 札幌教育センター併設 4 年課程に大学併学コースを設置 情報化人材育成学科認定（旧通産省）
平成 12 年 4 月	マルチメディア C G 科を新設

平成 12 年 10 月	情報プロセス科を新設
平成 13 年 4 月	「北海道電子計算機専門学校」から「北海道情報専門学校」に校名変更 ビジネス系学科を新設
平成 16 年 10 月	テクニカルエンジニア科を新設
平成 19 年 4 月	ゲームクリエイタ科を新設

連絡先

住所	〒003-0806 札幌市白石区菊水 6 条 3 丁目 4 番 2 8 号
電話番号	0 1 1 - 8 3 1 - 5 5 1 1
FAX 番号	0 1 1 - 8 2 4 - 2 9 5 7
E メールアドレス	info@hcs.ac.jp